



市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います

未来を創る“夢”  
かがやきプロジェクト



## 夏を彩る水都の祭典

8月3日(木)～8月6日(日)

大垣の夏を彩る「水都まつり」が、8月3日から6日まで、大垣駅通りや本町通りを中心に華やかに繰り広げられます。

まつり会場は七夕飾りで彩られ、幻想的な万灯流し、輪になっての盆踊りなど、多彩な催しが行われます。ご家族お揃いでお出かけください。

なお、期間中は、下図のとおり交通規制が行われます。

詳しくは、同まつり実行委員会（大垣観光協会内、☎77-1535）へ。



暑中お見舞い  
申し上げます  
平成二十九年盛夏

<市長> 小川 敏  
<副市長> 広瀬 幹雄

### 大垣市議会

<議長> 岩井 哲二  
<副議長> 横山 幸司  
<議員>

近沢 正 中田としや  
空 英明 北野ひとし  
関谷 和彦 長谷川つよし  
中田ゆみこ 粥川加奈子  
田中 孝典 日比野芳幸  
山口 和昭 笹田トヨ子  
石田 仁 川上 孝浩  
岡本 敏美 丸山 新吾  
石川まさと 岡田まさあき  
高橋 滋 林 新太郎

### 期間中の催し

※開催場所は、下図の番号を参照

- ①本町七夕まつり  
3日(木)・6日(日) 9:00～21:00  
4日(金)・5日(土) 9:00～21:30
- ②ブラツキ七夕まつり  
3日(木)～6日(日) 18:30～21:30
- ③郭町東2丁目七夕まつり  
3日(木)～6日(日) 終日

- ④第49回駅前夏まつり  
4日(金)～6日(日) 18:45～21:30
- ⑤第69回大垣おどり大会  
4日(金)～6日(日) 18:15～21:30
- ⑥第41回夏の福祉まつり  
5日(土) 18:15～21:30
- ⑦第33回水門川万灯流し  
5日(土) 17:30～21:00
- ⑧あんどん装飾  
3日(木)～6日(日) 終日

### フレンドリーシティ 鹿児島市交流事業

- ⑫鹿児島市観光展  
3日(木)～6日(日) 10:00～21:00
- ⑬鹿児島市おはら踊り（駅前商店街）  
5日(土) 19:00～19:45
- ⑭鹿児島市おはら踊り（郭町商店街）  
6日(日) 19:30～20:00

### 協賛事業

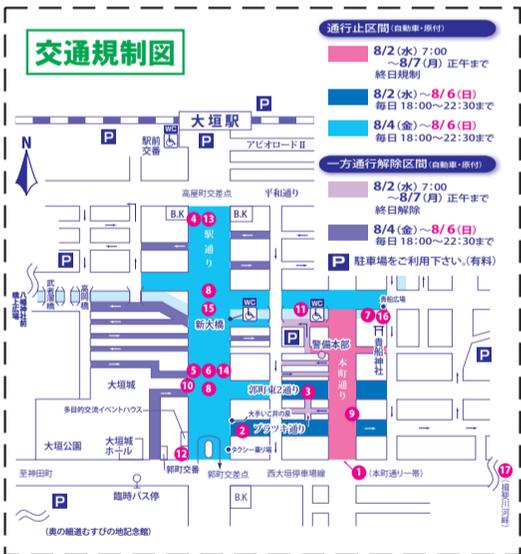
- ⑮水都おおがき打ち水大作戦  
5日(土) 18:00～19:00
- ⑯第16回歩いて観よう  
水門川クリーン作戦&川底学習会  
7月29日(土) 8:30～10:00
- ⑰第61回大垣花火大会  
7月29日(土) 19:30～20:30

- ⑨歴史観光パネル展示  
3日(木)～6日(日) 終日
- ⑩上石津あしたばそうめん販売  
5日(土)・6日(日) 16:30～20:00
- ⑪夕涼み新内  
4日(金) 19:30～21:00

- ◆リサイクルプラザ「クルクルワールド」の開館時間を延長  
4日(金)～6日(日) 10:00～21:00
- ◆OKB大垣共立銀行本店17階のスカイラウンジ特別開場  
5日(土)・6日(日) 10:00～17:00  
地上60メートルからの眺望をお楽しみください

### 水都まつりナイトウォーキング

- \*とき/8月5日(土) 午後5時～6時40分に養老鉄道西大垣駅前前で受付
- \*内容/奥の細道むすびの地記念館や水都まつり会場の大垣駅通りを巡る(約6km)
- \*問合せ/西美濃・北伊勢観光サミット(商工観光課内、☎47-8597)へ



### 7月15日号 主な内容

- ▶国民健康保険自己負担限度額の変更、大垣暮らしのオトクな制度など...2～3P
- ▶耐震診断などの助成制度、募集・講座のお知らせなど...4～5P
- ▶すのまた天王祭、ドリフターズin大垣2017、催しのお知らせ...6～7P
- ▶水都っ子ウィーク、市民伝言板など...8～9P
- ▶健康ガイド...10～11P
- ▶おおがきマラソン2017、夏の風物詩～ひまわり畑...12P

今後は養老線を維持していくため、近鉄や養鉄に対して、支援やコスト削減を引き続き求めていきます。市民の皆さんも、積極的な養老線の利用にご支援ご協力をお願いします。



沿線市町のキャラクターをラッピングした車両

この新しい体制へ変更するため、昨年7月に、国や県、沿線7自治体、商工団体、自治会、警察、高等学校などの各代表が集まり、養老線地域公共交通再生協議会を立ち上げました。現在は、地域公共交通形成計画を策定しています。年間約600万人が利用している養老線は、その大半が通勤通学客で、朝と夕方に利用が集中しています。今後利用客を増やすために、再生協議会では、駅前駐車場の整備や、高齢の免許証返納者に対する利用支援などが検討されています。

現在、養老線を維持していくため、近鉄や養鉄に対して、支援やコスト削減を引き続き求めていきます。市民の皆さんも、積極的な養老線の利用にご支援ご協力をお願いします。

この新しい体制へ変更するため、昨年7月に、国や県、沿線7自治体、商工団体、自治会、警察、高等学校などの各代表が集まり、養老線地域公共交通再生協議会を立ち上げました。現在は、地域公共交通形成計画を策定しています。年間約600万人が利用している養老線は、その大半が通勤通学客で、朝と夕方に利用が集中しています。今後利用客を増やすために、再生協議会では、駅前駐車場の整備や、高齢の免許証返納者に対する利用支援などが検討されています。

現在、養老線を維持していくため、近鉄や養鉄に対して、支援やコスト削減を引き続き求めていきます。市民の皆さんも、積極的な養老線の利用にご支援ご協力をお願いします。

現在、養老線を維持していくため、近鉄や養鉄に対して、支援やコスト削減を引き続き求めていきます。市民の皆さんも、積極的な養老線の利用にご支援ご協力をお願いします。

### 養老線の事業形態変更について



市長のかがやきメール  
大垣市長 小川 敏